

健保だより

2020-8 No.61

日本精機健康保険組合 <http://ns-kenpo.jp/>

令和元年度 決算特集

令和元年度の決算がまとまりました。詳しくは2ページをご覧ください。

お知らせ

- 令和元年度の決算は別紙の通りですが、一般勘定は前年比では被保険者増による保険料増、国庫補助金増等により収入増になりましたが、高齢者に対する支援金増、療養費、薬剤費等の保険給付費の支出増により、総収支は2,513万円減少しました。
- 介護勘定は、総収支では1,260万円を計上しましたが、財産からの繰入金金を3,044万円含んでおり、実際には1,784万円の赤字になりました。
- 今後の見通しでは、高齢者に対する支援金、高齢化の進展による医療費、介護納付金等の増加により、引続き厳しい状態が予想されます。
- またご承知の通り、新型コロナウイルスの感染拡大は特に大都市を中心に続いており、健保組合の業績においても事業所の業績悪化に伴う報酬減が発生し、保険料収入が減少しています。
- 一方感染予防のため、医療機関を受診しない人も多く、結果的に医療費の削減となっている面がありますが、医療をうけないことによる症状の重症化～高額医療費の発生への懸念もあり、今後の業績見通しが難しい状況が続いています。

夏本番を迎え、在宅での自粛生活も困難な面もあり、また特に高齢者の方を中心に熱中症の予防も重要であることから、「新しい生活様式」の中での留意点を記載しました。「3密」防止と合わせ、ご確認をお願いします。

コロナに
負けない!!

～新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために～
「3つの密」に注意しましょう!

多くの人が集まる
密集場所



会話等の距離が近い
密接場面



換気の悪い
密閉空間



3つの密が重なる場所は、クラスター発生のリスクが高くなります。
新型コロナウイルス対策として、クラスターの発生防止にご留意をお願いします。

※クラスターとは集団感染を意味します。

健康ニュース

「新しい生活様式」に対応した熱中症予防

熱中症とは

気温や湿度が高い環境の中で、体内の水分、塩分のバランスが崩れたり、体温調節がうまく働かないことにより発症します。めまいや立ちくらみ、嘔吐、けいれんなどが主な症状です。日中だけでなく、夜間の就寝中に発生する場合も多くあります。



point 1

暑さ、直射日光を避けましょう。

- エアコン、扇風機を利用し、部屋の温度を調整
- 換気扇の使用、窓の開放等による換気
- 吸湿性、速乾性の高い涼しい衣服を使用
- 帽子、日傘等の使用により直射日光を避ける



point 2

適宜マスクを外しましょう。

- 気温・湿度の高い場合のマスク着用は要注意
- 屋外で人と十分な距離(2メートル以上=ソーシャルディスタンス)を確保できる場合にはマスクを外す
- マスク着用時は負荷のかかる作業、運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で適宜マスクを外して休憩を



point 3

日頃から健康管理に気をつけましょう。

- 日頃から体温測定、健康チェックを行う
- 体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養する



ソーシャルディスタンスを保ちながら声をかけ合うことも大切です!!



point 4

こまめに水分・塩分を補給しましょう。

- のどがかわく前にこまめに水分補給
- 大量に汗をかいた時は塩分も補給(塩分を含む飴、梅干しなどが効果的)
- 利尿作用があるカフェイン、アルコールを含んだ飲料は水分補強には逆効果
- 糖分の多いスポーツドリンクなどの清涼飲料水の飲みすぎは急性の糖尿病(ペットボトル症候群)の恐れがあるため、飲みすぎに注意



塩分補給も忘れずに!!

point 5

夏の運動には気をつけましょう。

- 運動は、日中の暑い時間帯を避け、できるだけ朝夕の涼しい時間帯に行う
- 温度が高なくても、湿度が高く風の弱い蒸し暑い日などは、熱中症の危険が高くなるので注意
- 野外の運動は、木陰などで休憩をはさみながら行う
- 水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- 睡眠不足、疲労、カゼなどで体調が悪い時は中止する



令和元年度 決算がまとまりました

去る7月15日に開催された第83回組合会におきまして、当健康保険組合の令和元年度の決算が承認されました。健保組合の業績は、一般勘定では前年比で支出では納付金、保険給付費等が増加しましたが、収入で被保険者増による保険料収入増、国庫補助金増等により、総収支は21,636万円の黒字になりました。ただし総収支の中には財産からの繰入金 14,288万円を含んでおり、繰入金を除くと7,348万円の黒字になりました。(前年度は繰入金を除くと8,537万円の黒字) 介護勘定は総収支では1,260万円を計上しましたが、繰入金を除くと1,785万円の赤字になり、高齢化の進展に伴う介護納付金の増による総収支の悪化が懸念されます。

一般勘定

収入

保険料収入

(皆様と事業主からいただく保険料)

保険料収入の基礎となる年間平均被保険者数が前年比122人増加し、保険料収入は3,125万円増加しました。

ただし、一人当たりの平均標準月額額は2,346円、年間賞与額は58,295円減少しました。

収入から繰入金、国庫補助金等を除いた経常収支では4,982万円の赤字になりました。

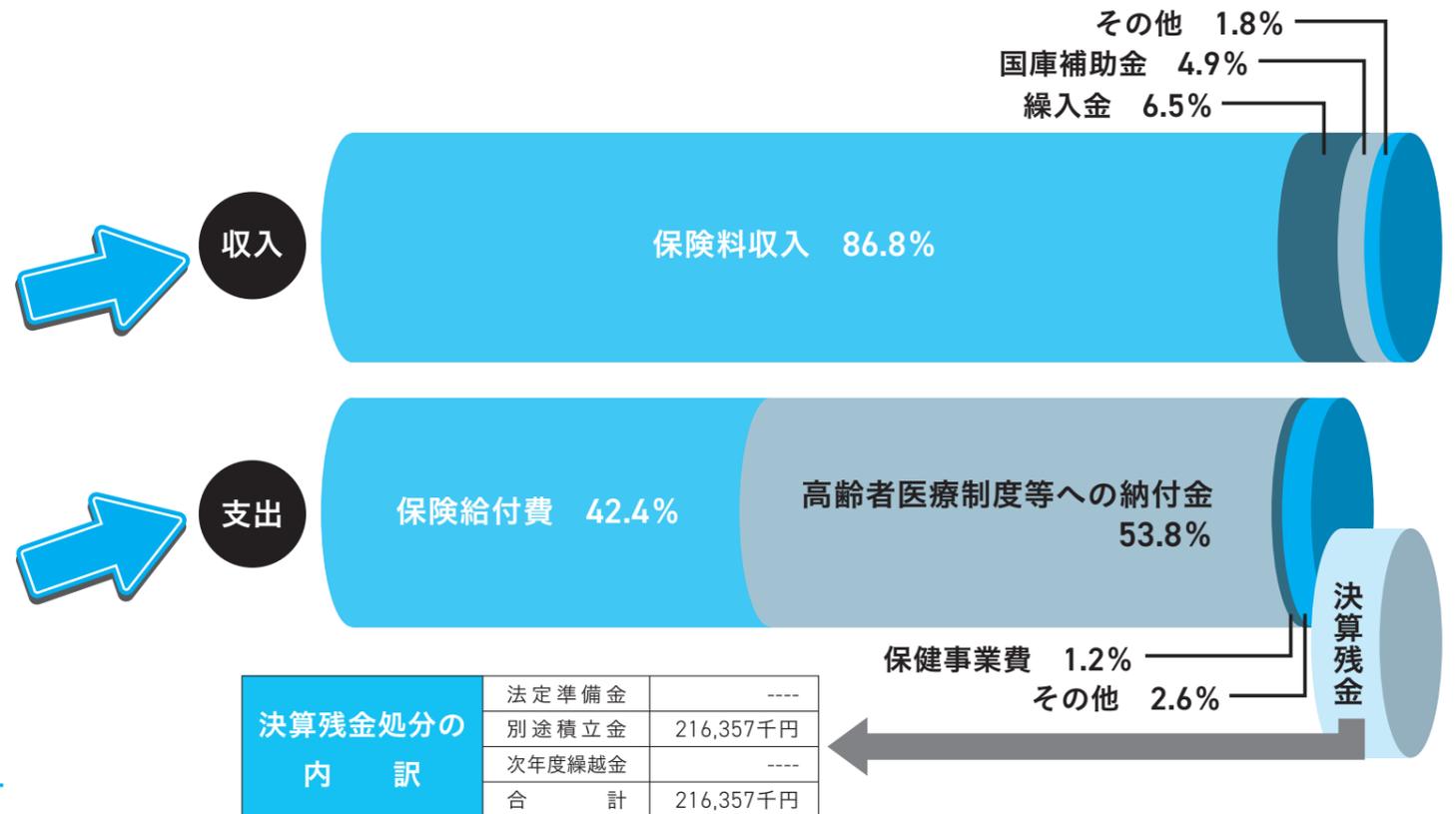
| 区分 | 令和元年度決算(A) | 平成30年度決算(B) | (A)-(B)増減 |
|--------------|------------|-------------|-----------|
| 被保険者数(年間平均数) | 3,800人 | 3,678人 | 122人 |

| 科目 | 令和元年度決算(A) | 平成30年度決算(B) | (A)-(B)増減 |
|-----------|-------------|-------------|-----------|
| 収入 | | | |
| 保険料収入 | 1,918,062千円 | 1,886,808千円 | 31,254千円 |
| 繰入金 | 142,881千円 | 156,118千円 | △13,237千円 |
| 国庫補助金 | 108,076千円 | 92,688千円 | 15,388千円 |
| その他 | 40,854千円 | 41,176千円 | △322千円 |
| 総収入合計(a) | 2,209,873千円 | 2,176,790千円 | 33,083千円 |
| 経常収入合計(c) | 1,919,766千円 | 1,888,462千円 | 31,304千円 |

| 科目 | 令和元年度決算(A) | 平成30年度決算(B) | (A)-(B)増減 |
|-----------|-------------|-------------|-----------|
| 支出 | | | |
| 保険給付費 | 845,337千円 | 833,548千円 | 11,789千円 |
| 納付金 | 1,071,523千円 | 1,026,496千円 | 45,027千円 |
| 保健事業費 | 24,817千円 | 22,103千円 | 2,714千円 |
| その他 | 51,839千円 | 53,152千円 | △1,313千円 |
| 総支出合計(b) | 1,993,516千円 | 1,935,299千円 | 58,217千円 |
| 経常支出合計(d) | 1,969,658千円 | 1,912,434千円 | 57,224千円 |

| | | | |
|---------------|-----------|-----------|-----------|
| 総収支差引額(a)-(b) | 216,357千円 | 241,491千円 | △25,134千円 |
| 経常収支(c)-(d) | △49,892千円 | △23,972千円 | △25,920千円 |

<令和元年度決算の主な収入・支出項目の割合>



支出

保険給付費 (医療費や手当金などの健保組合からの給付金)

皆様の医療費や各種給付金のために支払った費用です。全体では前年度に比べ1,179万円増の8億4,534万円でした。被保険者一人当たりの保険給付費は、前年度決算に比べ17,156円減少し、7.0%減となりました。

| 区分 | 令和元年度決算(A) | 平成30年度決算(B) | (A)-(B)増減 | 伸び率 |
|----------------|------------|-------------|-----------|--------|
| 被保険者1人当たり保険給付費 | 222,457円 | 226,631円 | △4,174円 | △1.84% |

納付金 (前期高齢者納付金・後期高齢者支援金・病床転換支援金・退職者給付拠出金等)

後期高齢者支援金が増加し、納付金全体では10億7,152万円と前年比で4,503万円、4.4%の増加となりました。一人当たりの納付金は、金額増により2,889円増加しました。

| 区分 | 令和元年度決算(A) | 平成30年度決算(B) | (A)-(B)増減 | 伸び率 |
|--------------|------------|-------------|-----------|-------|
| 被保険者一人当たり納付金 | 281,980円 | 279,091円 | 2,889円 | 1.04% |

保健事業費 (皆様の健康づくりを支援するための費用)

本年度決算額は2,482万円で、人間ドック補助費用増により前年比271万円増加し、12.3%の増となりました。

介護勘定

保険料収入が460万円増加、納付金は2,335万円の増加(前年比)

保険料収入の基礎となる年間平均第2号被保険者数は72人増加しました。保険料収入460万円、繰入金1,904万円増等により、収入は2,346万円増加しました。

厚生労働省から通知された介護納付金は前年度と比べ2,335万円増加し、12.2%増となりました。

総収支額は1,260万円ですが、総収支の中に繰入金3,044万円を含んでおり、繰入金を除くと1,785万円の赤字になりました。(前期は繰入金を除くと108万円の黒字)

介護納付金の伸びが大きく、介護勘定は今後も厳しい状況が続く見込みです。

| | | |
|-----------|--------|----------|
| 決算残金処分の内訳 | 法定準備金 | 12,599千円 |
| | 次年度繰越金 | ---- |
| | 合計 | 12,599千円 |

| 区分 | 令和元年度決算(A) | 平成30年度決算(B) | (A)-(B)増減 |
|--------------|------------|-------------|-----------|
| 被保険者数(年間平均数) | 2,159人 | 2,087人 | 72人 |

| 科目 | 令和元年度決算(A) | 平成30年度決算(B) | (A)-(B)増減 |
|----------|------------|-------------|-----------|
| 収入 | | | |
| 介護保険収入 | 193,726千円 | 189,126千円 | 4,600千円 |
| 繰入金 | 30,444千円 | 11,408千円 | 19,036千円 |
| 国庫補助金 | 2,149千円 | 2,317千円 | △168千円 |
| 雑収入 | 12千円 | 24千円 | △12千円 |
| 総収入合計(a) | 226,331千円 | 202,875千円 | 23,456千円 |

| 科目 | 令和元年度決算(A) | 平成30年度決算(B) | (A)-(B)増減 |
|------------|------------|-------------|-----------|
| 支出 | | | |
| 介護納付金 | 213,732千円 | 190,386千円 | 23,346千円 |
| その他 | ---- | ---- | ---- |
| 総支出合計(b) | 213,732千円 | 190,386千円 | 23,346千円 |
| 総収支(a)-(b) | 12,599千円 | 12,489千円 | 110千円 |